

高度な技術でロボットを  
自在に操る外科医たち  
千葉県松戸市

# 社会医療法人社団 木下会 千葉西総合病院

## 国内で先駆けて導入した最新機器と 医師の技術で質の高い前立腺がん手術を

### 医師の技術により 確実な手術を追求

ダビンチは開腹手術と比べると、術後の負担も抑えられている。そもそも前立腺がんの手術は、心臓や大腸などと比べ、術後の痛みや筋肉の低下、体重減少、食欲不振などが少ない。ダビンチを用いることで、それらがより顕著になり、早期の離床や退院も目指せるようになるという。

もともと、ダビンチのメリットを十分に実現させるためには、それを扱う久末医師と窪田医師の技術も重要となる。ダビンチは執刀医に加え、体外から鉗子でサポートする助手との連携も求められる手術。それに對し、「骨盤内の手術には、内部の構造の理解が重要で、内部は、一枚一枚の目に見えない膜が重なっています。筋肉や神経を残すためには、その構造の理解が必要になります」と久末医師が語るような知識を持ち、

### さまざまな長所を持つ 最新機器を導入

ロボット支援手術は、小さな切開や病変の立体視体内での緻密な操作といった利点が着目されたことで世界中に普及し、機器自体も日々改良されている。千葉西総合病院で導入したのが、ダビンチXiと呼ばれる最新のシステムだ。もともと同院ではミニマム創内視鏡下手術を中心とした前立腺がんの手術件数が多いという素地があった。それを更に発展させるためにも、千葉県で初めて同機種の導入に踏み切ったのだという。

Xiでは、国内に広く普及している従来機種に比べ、

さまざまな優位性がある。1つがより鮮明に術野を確認できることだ。「前立腺が

んの手術は、がんの根治、尿失禁の防止、性功能の温存という3つが求められます。Xiの画像の鮮明さは群を抜いており、神経や筋肉の温存がより容易になりました」と久末伸一医師。加えて、ロボットアームの可動域が広く、幅広い方向から体内に機器を通すことができることも大きな特長だという。「それが特に有用なのが、4月から保険適用になった腎がんに対する部分切除でしょう。体の横側にある腎臓への手術で、視野が確保しやすくなるので」と窪田徹矢医師は語る。



コンソールでロボットアームを遠隔操作



体外から鉗子で補助する助手の技術も重要



最新のダビンチXiによる前立腺がん手術

前立腺がん手術及びダビンチに習熟している両名が協力することで、手術を円滑に進めることが可能になるという。さらには、両名とも執刀医を務められることで、外来から手術、術後のフォローアップまでを一貫して1人の医師が担当できるのも、患者の信頼を高めていると言える。

正確性を追求する手段として、超音波によるナビゲーションを併用しているのも、他ではあまり見られない取り組みだろう。「膀胱と前立腺の位置を確認できるナビゲーションをダビンチに組み込んでいます。それと体内の立体映像を比べることで、より正確な手術が可能になります」と窪田医師。

### 他科との連携により 治療の信頼性を高める

手厚い診療体制もまた治療の質の高さをもたらしている。前立腺がんの患者には高齢者が多く、心疾患を含めた他の疾患を併発して

いるケースが多い。それに對し、心カテーテル治療で国内一の実績を持つ循環器内科など、他の診療科とも連携しながら治療を進めることが可能だ。「単科で手術が難しいケースが他院から紹介されることもあります。それに対応できるのも当院の強みでしょう」(窪田医師)。現在ではこうした高度な手術及び充実した診療体制を生かし、1人でも多くの患者に適切な治療を提供できるように、早期発見のための検診や、医療講演を通じた情報提供も積極的に行っているという。

同院ではダビンチシステムのシミュレーターも導入しており、日々医師がトレーニングできる環境を整えている。今後はそれを全国から同院に訪れる研修医の教育に役立てることも見据えている。「前立腺がんは予後も良く、患者さんとは術後5年10年単位のお付き合いになります。しっかりと機能を残し、10年後に良かったと言ってもらえる手術を心がけています」と久末医師。同院ではダビンチにより、そうした手術を今以上に高い水準で提供できるように、力を尽くしていく。

### INFORMATION



診療科目：循環器内科、泌尿器科ほか  
受付時間(泌尿器科)：  
月・火・水・金 8:00~11:00/11:30~15:00  
木・土 8:00~11:00

休診日(泌尿器科)：木午後・土午後・日・祝  
〒270-2251 千葉県松戸市金ケ作107-1

TEL.047-384-8111 (代表)

<http://www.chibanishi-hp.or.jp/>